

書評

「秘録・在日コリアンヒストリー」

山根 俊郎

「秘録・在日コリアンヒストリー」戦後の民族組織結成から芸能・タカラヅカまで

兵庫朝鮮関係研究会編 明石書店 2024年2月20日発行 定価(本体3,200円+税)

兵庫朝鮮関係研究会(兵朝研)から同会の創立40周年を記念して、会員の方々の長年の研究の集大成とも言うべき本が出版されました。

この本は、副題に「戦後の民族組織結成から芸能・タカラヅカまで」と銘打って4名のメンバーがそれぞれの関心から多彩なテーマを緻密な資料の発掘により戦後に活躍した在日朝鮮人や日本人の姿を生き生きと描いています。

第1部

在日本朝鮮人連盟兵庫県本部の結成と活動 - 徐根植

当時の新聞記事から朝連兵庫の結成を1945年9月から10月初頭と推測しています。

その後の大会の記録から役職の名簿から当時活躍した幹部、李民善などの人名が分かります。

「闇市」=村上しおりの研究紹介、国際ギャング団事件(朝鮮人連盟と台湾民会青年隊との対立抗争)の記述など「秘録」にふさわしい。

在日本朝鮮居留民団兵庫県本部の結成 - 徐根植

民団兵庫は、1948年6月21日に結成されました。当初は、建青兵庫(朝鮮建国促進青年同盟-1945年12月結成)の傘下団体であったらしい。1946年当時、建青兵庫の勢力は朝連兵庫にはるかに及ばなかった。1946年3月14日建青尼崎支部の結成が朝連青年部行動隊の反対行動により妨害され延期した。



しかし、1948年6月に4.24教育闘争で朝連兵庫は委員長以下大量の逮捕者を出した。その結果、民団兵庫が結成できたと推測している。丹波篠山市在日コリアン足跡等銘板の報告 - 徐根植

既に5ヶ所の銘板を紹介した。その後に設置された2ヶ所の銘板を紹介する。

愛の絆に生きる人-在日韓国人としての小浪義明 - 金勇秀

三宮のキャバレー新世界から東京の赤坂ミカドを経営したキャバレー王。経済人である小浪義明(裴在潤)の波乱万丈の人生をいろんな資料を探して見事に描いています!

出生年月日と場所-慶尚北道安東郡月谷面沙月洞であり、現在の慶尚北道安東市臨東面沙月里と結論付けた。1910年8月13日生まれ。

家族構成と学歴-県立和歌山中学中退。水商売への道-大阪九条のカフェの副支配人、支配人、キャバレーの営業部長。神戸でキャバレーの社長。戦時下の振る舞い-軍需工場を経営。

終戦後の組織人としての小浪-1946年朝連外務部長。→朝連兵庫を離れる。1948年建青兵庫→民団で活躍する。1950年代の経済人・文化人

としての小浪。趣味と私生活－熱帯魚、犬の飼育、洋蘭など。1960年から1965年までの小浪－民団兵庫顧問。赤坂買収劇。勝利出版とミカドジム。脱税事件。韓国系商工人として。おわりに。小浪が1945年～1960年間にかけて韓日親善の愛の絆に生き尽力したからこそ今日の兵庫県に在日韓国人社会が存在するので感謝。

## 第2部

### 淑香伝戯曲－村山知義と朝鮮、そして宝塚歌劇団－高龍弘

芝居の口上よろしく舞台仕立てで演劇の話から小林一三、プロレタリア演劇運動、本題の進撃の巨人？失礼、新劇の巨人村山知義の日本語の春香伝上演、宝塚少女歌劇団の淑香伝上演と論文は展開する。

ジェットコースターに乗っているように次々に繰り上げられる話題に目が回り、必死に付いて行くと最後には朝鮮の芸術にたどり着く。あまりにも多彩な内容なので項目のみ記します。前口上●初めての詩情＝幼い岩谷時子の武庫川での韓国人の踊りの記憶。

#### 第一幕 帝国劇場

－第1場 日比谷と役者－●江戸城周辺●勘弥と團十郎－演劇改良会

－第2場 演劇改良会と朝鮮●メンバーの顔触れ

－第3場 帝国劇場開幕－●発展する演劇●帝劇に集まった人々＝石井獏●小林一三

#### 第二幕 阪急・東宝グループの誕生

－第4場 結ばれた鉄道人脈－●小林一三のお目付け役●阪急・東宝グループの誕生

－第5場 華麗なる一族と大衆－●華麗なる一族●大衆相手に

#### 第三幕 主義者の群像

－第6場 夜明け前－●平民社の人脈

－第7場 熱い冬の時代に－●青踏社と宝塚少女歌劇団●労働運動と劇団－平沢計七●伊藤家の人々と小山内薫

－第8場 盛と衰－●檄文●攻防

－第9場 新劇の巨人－●村山知義登場！●M A V O●プロレタリア演劇への道●熱海での出来事●中心人物として●転向と新劇団結成

第四幕 春香伝から淑香伝へ

－第10場 広汎な大衆を相手に－●新協劇団の誕生●東宝の誕生●新協と東宝の接近

－第11場 カップとコップ－●朝鮮プロレタリア芸術家同盟の発足●一国一党の原則●カップ東京支部●日本のプロレタリア劇団で活躍する朝鮮人●三一劇場●朝鮮の夕

－第12場 新協劇団版の春香伝－●張赫宙●春香伝●春香伝の上演●新協劇団の朝鮮人演劇活動家たち

－第13場 宝塚版の淑香伝－●淑香伝●ドンピシャの配役●戦争と宝塚

終幕－第14場 内戦一体－●淑香伝

－第15場 「その後」の数々－●さくら隊散る●村山知義のその後●植田神爾●金剛山歌劇団キム・ヨンジャ世界に羽ばたく不死鳥伝説－高祐二

1959年全羅南道光州市で生まれた女性歌手キム・ヨンジャ（金蓮子）は1977年に日本に来たが挫折する。80年代新軍部の時代に1981年名曲をメドレーで歌った「歌の花束」が360万枚の大ヒット。1987年オリンピックテーマ曲「朝の国から」の大ヒット。再度、来日して「暗夜行路」をヒットさせる。

1998年金大中が大統領になり、「太陽政策」を推し進めて、ついに2001年4月キム・ヨンジャは北朝鮮の「春の親善芸術祭典」に参加して平壤の舞台に立つ。彼女は北朝鮮の歌も歌い、懐メロも歌い大人気となる。金正日の御前公演もした。2002年春にも訪朝して公演を行う。金正日との接見で聴いた金正日の日本びいきの話などを正確に記されている。これは同行された在日コリアンのプロデューサー李喆雨（リョルウ）先生から相当詳しく聞き取りされたであろう。歴史的な第1級資料になるであろう。（終）